



小樽桜陽高等学校はこんな学校です！

明治39年「北海道庁立小樽高等女学校」として開校してから今年で112年を迎えた伝統校です。卒業生も3万6千余名を数え、地元小樽をはじめ各界で活躍し、同窓会（桜陽会）活動も活発です。現在は、地域や保護者の期待と生徒の願いに応え、次のような教育活動を推進しています。

(1) 夢の実現を支援する学校

95%以上の生徒が進学を目指す本校では、「夢の実現」の第一歩である進学に通用する学力を身につけます。

- ・ 単位制を導入したそれぞれの進路に対応した教育課程。
- ・ 多様な進学講習（講座）の実施。（課外、土曜、夏期、冬期、センター対策、二次・私大対策）

(2) 切磋琢磨しながら高めあう学校

「文武両道」を合い言葉に、部活動などの中で自己を見つめるとともに相互に鍛え高めあうことができます。

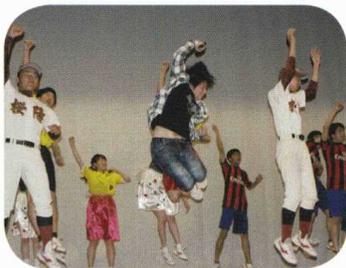
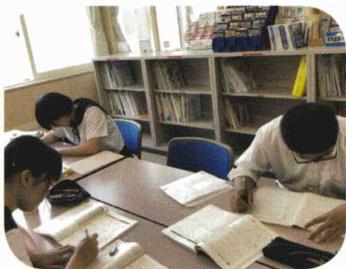
- ・ 放送局が全国大会、多数の部が全道大会に出場。（平成28年度）

(3) 地域に根ざした「こころ」を育てる学校

地域祭典への協力をはじめ自主的ボランティア活動などで地域の期待に応え貢献します。

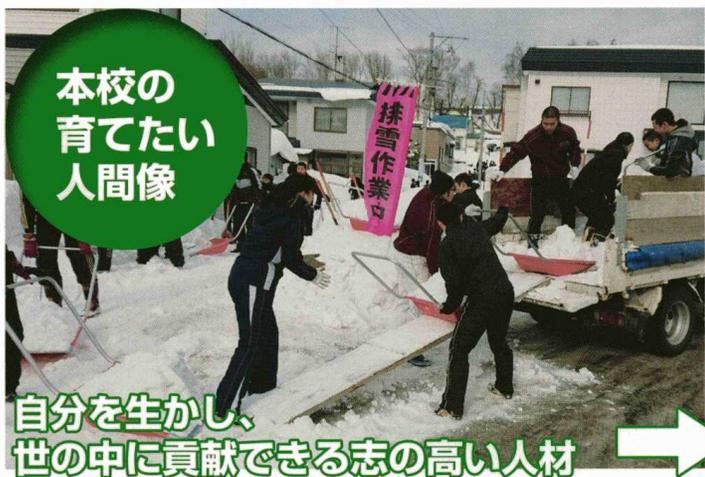
地域における本校の使命（ミッション）

1. 基礎学力を基盤に課題解決力や学ぶ意欲を高め、夢の実現を支援する学校
2. 自律の精神、規範意識を養うとともに互いに切磋琢磨しながら高めあう学校
3. 適性や能力を踏まえた目標に向かう努力を支え、進路希望を実現する学校
4. 自他の生命を尊重し、健康で安全な学校生活を送ることができる学校

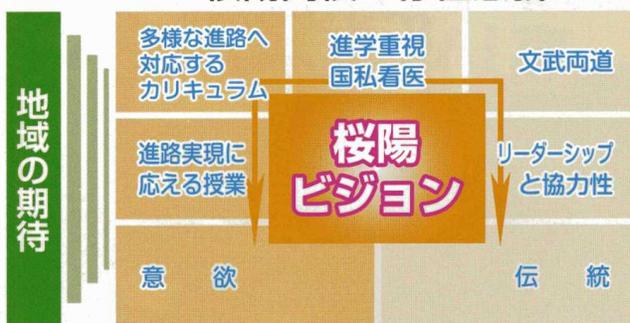


多様な進路希望に応じて学び、実現する3年間

スクールアイデンティティ (S.I.) —桜陽高校であることの存在意義—



桜陽高校の存在意義



- 自ら課題を発見し取り組み、自己の進路を切り拓く実践者
- 豊かな人間性を備えた社会の形成者

推薦入試制度

本校では定員の20%程度で推薦入学者選抜を実施



推薦の要件 (志望してほしい生徒像)

基本的な生活習慣が身につけており、自ら課題を見出し、自ら解決に向け努力する、次のいずれかに該当する生徒

- ①大学進学等の明確な進路目標の実現に向け粘り強く努力する生徒
- ②学習はもとより、生徒会活動や部活動等に積極的に取り組み、リーダーシップを発揮できる生徒

本校では、「将来は大学に進学し、高度な知識、教養を身につけたい」「桜陽高校で勉強と両立しながら部活動、生徒会活動を頑張りたい」と強く願う生徒が、この推薦入学者選抜に挑戦してくれることを期待しています。

単位制で学ぶ科目

■ 必修科目 ■

全員が学習する科目です。高校の基礎的・基本的な内容をしっかりと学び、バランスの取れた知識・技能・教養を身につけることをねらいとしています。

■ 選択必修科目 ■

複数の科目の中から必ず1科目を選んで学習する科目のことで、1年次の「音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ」などです。

■ 選択科目Ⅰ ■

必修科目を発展させた内容を中心とした科目群です。自分の目標とする進学先(大学など)を考えて、必要とされる科目を中心に選択し、しっかりとした学力を身につけることをねらいとしています。

■ 選択科目Ⅱ ■

必修科目や選択科目Ⅰを土台にした内容を深めた学習や探究的・研究的な学習をする科目群です。自分の興味・関心を深めたり、学習の向上の深化をねらいとしています。

平成31年度 単位制カリキュラム (予定)

1年次	2年次	3年次
国語総合 世界史A 数学Ⅰ 数学A 生物基礎 物理基礎 コミュニケーション英語Ⅰ 英語表現Ⅰ 体育 保健 家庭基礎 社会と情報	化学基礎 倫理 政治・経済 体育 保健 日本史A } 選択 地理A }	体育
音楽Ⅰ } 選択 美術Ⅰ } 書道Ⅰ }	現代文B・古典B・国語表現・国語総合・日本史B・地理B 世界史B・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学B・地学基礎・物理・生物 化学・科学と人間生活・コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅱ・芸術Ⅱ	探求日本史・探求地理・世界史研究・ゼミナール政治経済法 数学研究Ⅰ・数学研究Ⅱ・発展数学Ⅰ・発展数学Ⅱ・化学研究 生物研究・物理研究・生物課題研究・探究化学・英語講読 音楽実技・美術表現・生涯スポーツ・フードデザイン・簿記 ビジネス基礎・情報の表現と管理
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
LHR	LHR	LHR